

JDT2017 の機能変更について（重要なお知らせ）

JDT2017 は、Microsoft Office 製品に組み込まれている「数式エディター(3.0)」を利用して数式を編集するテンプレートです。

2018年1月中旬、Microsoft Office 製品におきまして、セキュリティが脆弱であることが確認されたとして、Windows Update（更新プログラム）適用時に、この数式エディター(3.0)を削除しています。数式エディター(3.0)が削除された Office 製品上では、JDT2017 で数式の作成及び既存の文書内に含まれる数式を編集することができません。

JDT2017 では、平成 28 年度まで使用していましたが Word97-2003 文書形式の .doc ファイルと互換性を保つことのできる Word 文書 .docx ファイル（互換モードタイプ）で文書を作成するようにプログラムされていますが、JDT2017 で数式編集をできるようにするためには、この互換モードの設定を解除する必要があります。互換モードの解除方法は、別紙「数式エディター(3.0)が削除された環境での JDT2017 による数式作成方法」をご参照ください。

なお、新しい Word の数式機能を使用する場合、数式エディター(3.0)によって作成された数式を編集するのではなく、新たに数式を作成することになります。

また、文書の互換モードを解除することで、特に図記号などを挿入したテキストボックスの位置・大きさが変更するといった、データ崩れの事象が起こることも想定されています。したがって、文書の互換モードの解除を行った後は、データ各所に不具合が生じていないか、十分にご確認をお願いいたします。

また、数式を修正する必要のない文書データにつきましては、互換モードの設定解除をする必要はございません。

数式修正について、個別にご相談も受け付けていますので、お気軽に JDT ヘルプデスクまでご連絡ください。

連絡先：

一般財団法人日本規格協会 JDT ヘルプデスク jdt@jsa.or.jp